

<H29年3月議会>

信州型コミュニティスクールについて

質問 「信州型コミュニティスクール」がなぜ必要なのか。
小林教育長 近年、急激に少子高齢化が進み、核家族の増加など社会環境の変化により、家庭と地域社会とのつながりや支え合いが希薄化しています。それに伴い、地域の方が学校にかかわる機会が減少し、地域の学校、地域で子どもを育てるといった意識が少なくなり、地域の教育力の低下を招いていると言われています。また、学校では多様な児童生徒への対応や日常の事務作業、課外活動の指導などに多くの時間を費やすなど、教員に求められる役割が多様化、複雑化しており、学校や教職員だけで対応することが、質的にも量的にも困難な状況となっております。教育現場に求められるニーズも多様化しておりますが、本来教育は学校だけで行われるものではありません。

地域社会や家庭が教育の場として十分機能を発揮することにより、子どもたちは健やかに成長できるものと考えております。また、豊富な経験と多様な価値観を持った地域住民と交流することによって、子供たちの社会的規範意識が高まり、自分を大切にす気持ちや、誰かの役に立っているという感情が育ち、社会的な自立や生きる力の醸成へとつながっていくものと考えております。

※地域が学校にかかわることの重要さがわかりました。

<H29年6議会>

「真田丸」放送と税収について

質問 NHK大河ドラマ「真田丸」放送に伴う経済効果として、上田市内の観光消費総額は67.9億円と公表されました。結果として、市の税収はどうなったのか。

山口財政部長 個人住民税で、700万円余、率にして0.1%の増。法人市民税のうち、真田丸放送による効果が期待されるサービス業では40万円余、小売業は100万円余の増。一方、食品・飲料製造業では40万円余の減となりました。

入湯税で、27年度は31万2,000人余、28年度は35万人余と約12%の大幅な増加。日帰りの入湯客数は、27年度は2万人余、28年度は2万1,000人余と約4%の増。入湯税は、27年度の4,700万円余、28年度の決算見込み額は5,300万円余、金額で約600万円、12%の増です。

※話題を呼んだ「真田丸」の放送でしたが、税収増という形では大きな期待にはなりませんでしたが、しかし、上田市の知名度が大きく向上したことは事実です。今後、ポスト「真田丸」の取り組みが必要だと思いました。

久保田由夫フォト通信



左上から、今井胡桃さんと岩淵香里さんの壮行会：上田市役所にて（写真は、今井さん）、上の左から消防出初式（サントミュージゼ）、地元自治会の道祖神、西部公民館竣工式（総事業費約7億5千万円）、下の左から長瀬由希子さん（参議院長野選挙区予定候補）、東信5市議員研修会で講演する前田孝夫さん（福岡県筑紫野市出身、九州大学非常勤講師）、文殊堂での節分会（鹿教湯温泉）

この間の主な活動

（平成30年1月）

- 18 上田地域市町村議員研修会（丸子文化会館）
 - 20 上小更埴地区党会議（こぶし会館）
 - 21 上田市消防団出初式、丸子第5分団新年祝賀会
 - 23 市役所改築・改修研究委員会、東信5市議員研修会（佐久市）
 - 25 市政対策会議
 - 26 市職労パーティー
 - 27 葬儀（同僚議員の夫）
 - 28 地元の道祖神、下長瀬自治会新年祝賀会
 - 29 議会運営委員会（代理出席）
 - 30 一般質問検討（議会準備）
 - 31 西部公民館竣工式
- （平成30年2月）
- 1 丸子早起野球新年会
 - 2 市政対策会議、今井胡桃さんと岩淵香里さんの壮行会、一般質問通告
 - 3 カラオケ倶楽部例会
 - 4 市政対策会議
 - 5 市議会開会
 - 6 事務所片づけ
- （今後の予定）
- 7 一般質問事前聴取、政務活動費担当者会議
 - 8 地域づくり講座
 - 9 朝宣伝（小牧）、陣場台地研究委員会役員会
 - 10 シリーズ文化講演会（舞の海秀平さん）
 - 11 日本共産党演説会（上田創造館）
 - 13～15 一般質問
 - 15 「子どもたちの将来をみんなで考える」シンポジウム
 - 16 朝宣伝（小牧）
 - 19～20 総務文教委員会
 - 21 丸子地域での朝宣伝開始